



YONEYAMA SCHOLARSHIP ALUMNI ASSOCIATION KANSAI  
米山奨学生学友会（関西）

38

2021-2022



# CONTENTS

挨拶	3	国際ロータリー第 2660 地区 2021-22 年度ガバナー ご挨拶
	4	公益財団法人ロータリー米山記念奨学会理事長 ご挨拶
	5	国際ロータリー第 2660 地区 2021-22 年度米山奨学委員会委員長 ご挨拶
	6	米山奨学生学友会（関西）会長 ご挨拶
感想	7	奨学生代表の感想
	9	カウンセラーの感想
	10	メンターの感想
活動報告	11	2021 年度新規米山奨学生オンライン勉強会
	12	米山奨学生オンラインご挨拶会
	13	2021 米山奨学生学友会（関西）総会
	14	米山月間卓話報告
	18	ロータリー学友会 2021-2022 年度 秋の交流会
	19	米山 Merry ChristmasK 交流会
	20	新規奨学生選考応援
	21	米山奨学生による感謝祭
	22	『子どもの夢をつなごう』奉仕プロジェクト
	その他	23
25		2022-2023 年度活動スケジュール
26		2021-2022 年度現役奨学生
29		会報原稿募集案内

## 関西米山奨学生学友会 2021-22 年度役員

<p>会長 関 スラ / 大韓民国</p>  <p>大阪うほ RC 2013.4-2014.3</p>	<p>副会長 頼 育萱 / 台湾</p>  <p>奈良大和西和 RC (旧王寺 RC) 2006.4-2007.3</p>	<p>幹事長 單 雅婷 / 台湾</p>  <p>四條畷 RC 2012.4-2013.3</p>	<p>会計 鄭 詩穎 / 台湾</p>  <p>池田べん RC 2018.4-2020.3</p>
<p>IT 専任・顧問 Ariff Zaini / マレーシア</p>  <p>大阪城東 RC 2013.4-2015.3</p>	<p>地区学友会専任 呉 偉偉 / 中国</p>  <p>青森東 RC 2010.4-2011.9</p>	<p>役員 師 成 / 中国</p>  <p>勝田 RC 2019.4-2020.3</p>	<p>役員 PITABEDDARA VITHANAGE, SANDALI DILSHANIE VITHANAGE / スリランカ</p>  <p>吹田西 RC 2019.4-2021.3</p>
<p>役員 陳 佳怡 / 中国</p>  <p>大阪ユニバーサルシティ RC 2015.4-2016.3</p>	<p>顧問 何 玉翠 / 台湾</p>  <p>奈良 RC 1987.4-1989.3</p>	<p>会計監査 李 麗俞 / 台湾</p>  <p>奈良 RC 1984.4-1986.3</p>	<p>広報専任 鍾 允順 / 台湾</p>  <p>池田べん RC 2014.4-2015.3</p>
<p>役員オブザーバー 梅 星 / 中国</p>  <p>大阪城東 RC 2019.4-2020.3</p>	<p>役員オブザーバー VO NU TRUONG GIANG / ベトナム</p>  <p>摂津 RC 2019.4-2021.3</p>	<p>役員オブザーバー 趙 航 / 中国</p>  <p>高崎北 RC 2019.4-2021.3</p>	<p>役員オブザーバー 王 浩悦 / 中国</p>  <p>京都洛南 RC 2016.4-2017.3</p>

## 米山学友会の豆知識

Did you know?  
About Yoneyama Scholarship Alumni Association

### 学友会とは？

本会は、元・現米山奨学生間の交流を通じて、親睦および互助を促進すると共に、国際親善・世界の平和に寄与することを目的とする非営利組織です。

### 学友の活動とは？

異文化理解から語学力発揮、ボランティア活動から地道なお手伝いまで、学友たちが力になれるところで、今までの恩に感謝する気持ちを込めて貢献しております。

### 関西学友会の会員になる方法

関西に在住の元米山奨学生（OB.OG）現役奨学生の方々には全員が本会の正会員、準会員とする。関西近辺にいる学友の皆さま、是非一緒に本会の活動にご協力、ご参加をお願い致します。

### イベントなどの最新情報を提供

本会は、ホームページや Facebook 等による運営を行っております。また、メーリングリストによる一斉送信も行っております。皆さまのご登録、心からお待ちしております。

### 会費は必要ですか？

年会費は 2012 年度により廃止されました。  
※但し、活動参加費のみ徴収しております。

### 学友会とは？

Website: <http://kansaiyoneyama.com>  
Facebook: <https://www.facebook.com/yoneyama2660>  
Email: [yoneyama2660@gmail.com](mailto:yoneyama2660@gmail.com)



## 国際ロータリー第 2660 地区 2021-22 年度 ガバナー ご挨拶



### 吉川 秀隆

国際ロータリー第 2660 地区  
2021 - 22 年度  
ガバナー  
大阪 RC

関西米山奨学生の皆さん、この一年の活動はいかがでしたでしょうか？

長らくコロナの影響で、国内外の交流制限が続く中、知恵を出し合い、工夫をこらして活動をされてきたことと思います。困難がある中、活動をやり抜かれた皆さんは、この1年でさらに大きく成長されたことでしょう。

米山記念奨学会の最大の特徴は、世話クラブの存在とカウンセラー制度にあります。カウンセラーと家族のように寄り添いあい、時には世話クラブの会員の皆さんとの交流や奉仕活動を通じて、日本文化により深く触れられることにあります。金銭的な援助だけでは決して得ることのできない、学業以外の様々な体験をすることは、皆さんの将来に大いに役立つはずで、3月27日に開催いただいた関西米山感謝祭でも、そのような多くの声を聞くことができました。大変嬉しく思います。

さて、米山奨学生、RYLA、青少年交換を含めた、学友の皆さんの世代と我々ロータリアンの交流の中で培われた国境、人種を超えた絆はとて強固なものです。先日行われました2022学年度の米山オリエンテーションにも、米山学友の有志の皆さんがお手伝いに来てくれました。この強い絆は、皆さんの人生を支える大きな力になっていくことでしょう。

私は、「夢」という言葉が大好きで、米山奨学生の皆さんのお話をする際も、よく使っています。個人で見る夢は夢のまま終わってしまうことも多いかもしれませんが、様々な人と交流する中で夢を語り合い、その中で受け取る思いは

夢をかなえる力を与え、現実化に向けての推進力となっていきます。皆さんの先輩にはそのようにして、自身の夢を叶えられた方が多くいます。米山奨学生ではありませんが、2003-04年度に当地区の青少年交換留学生としてやってきたアントニー・スロドコフスキー君がジャーナリストとしての功績をたたえられ、「ロータリー学友世界奉仕賞」をこの度受賞されました。米山奨学生・米山学友の皆さんからも世界に羽ばたく人材が生まれることを大いに期待しています。

米山事業創設の背景には、当時のロータリアンの「今後、日本の生きる道は平和しかない。それをアジアに、そして世界に理解してもらうためには、一人でも多くの留学生を迎え入れ、平和を求める日本人と出会い、信頼関係を築くこと。」との思いがありました。

今、ウクライナとロシアの間で世界を巻き込む大きな戦争が起きています。戦争を生むのも平和を作り出すのも全て人の心です。人が人を思う気持ち、それが絆であり、友情です。ドイツの詩人シラーの言葉に「友情は喜びを2倍にし、悲しみを半分にする。」という言葉があります。平和の原点は何か、それはお互いの立場や異なる考え方を超えた友情であり、絆です。

学友会、奨学生の皆さん、これからもその絆を強固なものとしながら、次世代へもその思いを受け継いでいってください。皆さんの益々のご健勝とご活躍を心より祈念いたします。

## 公益財団法人ロータリー米山記念奨学会 理事長 ご挨拶



### 若林 紀男

公益財団法人ロータリー米山記念奨学会  
理事長

Covid19 との共存へ舵を切り、漸く社会情勢が落ち着き始めたと思っただけで、ロシアによるウクライナへの侵攻で世界は混沌とし、分断の懸念が高まっております。このような状況の中、母国への不安や心配を抱える学友、支援に乗り出している学友もおられると思います。悲惨な報道を目にする度に心痛むばかりで、具体的な解決策の無さが歯痒く、ロータリーは世界平和を目指して活動してきたのに、また夢が遠く気がして無念でなりません。一日も早く紛争がなくなることを願うばかりです。

歴史は繰り返すので、このような悲劇を何度も乗り越えて我々はグローバル社会を築いて来ました。人々は世界と

交わることで異文化を知り、互いに相手を尊重し合うことが平和の礎であることを学んだはずで、

だからこそ、ロータリーも米山記念奨学会として留学生を支え、互いに学び、理解し合うことに力を注ぎました。その結果、学友の皆様が国を跨いだ懸け橋になり、民間外交として大きな役割を果たしてくれています。

平和が脅かされ世界が分断されそのような今ほど、この事業の真の意義を実感するときはありません。人と人の確かな繋がりが信頼関係を積み上げ、争いの種を生まないことが大切であり、信頼関係で結ばれたロータリアンと学友の皆様が手を携え、平和への一助にならなくてはと強く思います。

関西学友会の皆様には、コロナ禍に於いても多才なネットワークを駆使して、学友の連携と奉仕活動をしてこられました。社会への奉仕のみならず、現役米山奨学生をメンターとして支えたり、地区内外のセミナー等で講演して頂いたり米山学友会の存在意義を高めてくれていることに深く感謝と御礼を申し上げます。

全国の学友会の中でも関西学友会の行動力は際立っており、当地区としても誇りに思っております。

国内外の学友会の牽引役として、今後益々のご活躍と発展を祈念申し上げます。

## 国際ロータリー第 2660 地区 2021-22 年度 米山奨学委員会委員長 ご挨拶



### 末松 大幸

国際ロータリー第 2660 地区  
2021 - 22 年度  
米山奨学委員会委員長  
大阪淀川 RC

2021 学年度の米山奨学生終了生のみならず、終了式を無事に迎えられ学友になられたこと、誠におめでとうございます。心からお祝い申し上げます。コロナ禍の中で、地区米山奨学委員会主催の行事は、毎年恒例にしている宝塚観劇レクリエーションや米山梅吉記念館訪問など一切開催することができませんでした。けれども米山奨学生のみならずロータリーへの理解を深めてもらおうと考え、ロータリーの最優先事項として長年取り組んでいる POLIO 根絶を願い、「END POLIO NOW」学習会を行うことに決めました。まず動画を米山奨学生とカウンセラーの方に見ていただき、感想文を提出された奨学生に終了証をお渡しすることにしました。奨学生全員に終了証をお渡しできたことは、本当に嬉しいことでした。ロータリー活動に対するみなさまのお心に感謝いたします。

米山奨学生の終了生は、米山学友となられると同時に、ロータリー学友会に所属していただくこととなります。次年度、私はロータリー学友委員会委員長を務めることになりました。そもそもロータリー学友会とは、米山奨学生を含む、財団奨学生、研究グループ

交換 (GSE)、職業研修チーム (VTT)、グローバル補助金による奨学生、平和フェローシップ、青少年指導者養成プログラム (RYLA)、ローターアクトクラブ (RAC)、インターアクトクラブ (IAC)、青少年交換プログラム (ROTEX) など、ロータリーのプログラム修了生の同窓会組織のことをいいます。だからみなさまも学友となるわけですが、ロータリー学友会への入会には下記の登録が必要です。米山奨学生終了生のみならず、(終了年度は問いませんので)、ぜひ登録をおこなってください。登録費用は無料です。ロータリー学友会へ入会されるメリットは、世界の Rotarian、世界の学友ともつながるということです。定期的にロータリーからの情報も提供されます。

みなさまは、これから就職・結婚・出産、家事・育児とライフステージが変わってくるでしょう。ロータリー学友会としては、多様なかたちのファミリーや近い人とともに参加できる奉仕活動に重点をおいた活動をしていきたいと考えております。家族や友人を含め、みんなで一緒に楽しめる奉仕活動となるように力をいれていきたいと考えておりま

すので、ぜひご参加をお願いいたします。ロータリーの活動というものは「世界につながる」ことと同じくらい、親と子と孫、おじいちゃん、おばあちゃんが共に参加して「世代間でつなげていく」ことが重要であると考えております。というのは、幼いころからの奉仕体験が、「徳の継承と恩送り」につながると考えているからです。

新しく奨学生となられた 2022 学年度のみならず、ようこそロータリーファミリーへ!

4 月 7 日奨学生オリエンテーションのとき、新奨学生のみならずには、名刺 (business card) を作成し配布いたしました。この名刺を最大限に活用し、自己 PR につとめてください。お友達をたくさんつくってください。人生は 30 歳くらいまでの出会いで決まるとい見もあります。ぜひ世話クラブのカウンセラーさん、Rotarian のみなさまと良好な関係を築いていただき、思い出に残る米山奨学生ライフを楽しんでください。私達 Rotarian はみなさまの人生の応援団です。みなさまのこれからの成長とご活躍をお祈りしております。

## 2021-22 年度関西米山学友会 会長 ご挨拶



### 関 スラ

大韓民国  
2013 年 4 月～2014 年 3 月  
大阪うつぼ RC

いつも関西米山奨学生学友会の活動を温かい心で応援してくださる、ロータリアン、そして学友の皆様、こんにちは。私、関西米山奨学生学友会の会長、関スラです。今年度も無事、おわりに至っております。そして、新型コロナとの戦いもいつの間にか日常になり、慌ただしさの中でも楽しさを見つけていく日々を過ごすようになりました。

私が会長に就任し、皆様の前に立たせていただきはじめてからすでに 2 年がたちました。最初の一年は、突然のパンデミックに、ほとんどの活動が中止になり、いくつかの行事はオンライン実施を試みなければなりませんでしたが、しかし、世界のみんが各自の分野で日常を取り戻すために孤軍奮闘したおかげで、私たちの日常も少しずつ回復しつつあります。それに従い、この一年間は、元の関西米山の姿を少しずつ取り戻していく 1 年間でした。オンライン行事からハイブリッドに、そして 12 月には半屋外レストランで

対面行事を行いました。このような、関西米山奨学生学友会が活動を続けて行けることもまた、皆様がそれぞれの位置で忍苦の時間を耐えていただいたおかげだと思っております。いつもありがとうございます。

関西米山奨学生学友会が「日本から世界へ、そして世界から日本へ」という壮大なスローガンを持って活動したのも 2 年になります。新型コロナにより、活動が自由ではない状況の中、2 年間我々学友会は上記のスローガンを実現させるために多くの努力をしてみました。ロータリアンの方々の米山事業に対する理解のために様々なクラブにお尋ねし、学友たちが卓話とスピーチをさせていただきます。そして、その事業の中心に立つ次世代人材である奨学生たちにも、世界へ貢献していく彼らの義務実現のために教育と交流を図りました。のみならず、夢を繋ぐプロジェクトと言い、僻地小学校の子供たちのために寄付募金活動をするなど、各国の学友たちが、そして関西の

学友たちが、人材育成と社会貢献のための活動を企画しました。始めとその過程は微々であるかもしれませんが、小雨に服が濡れていくように、少しずつ、より良い世界になることを願う限りです。

今回の会報第 38 号は、活動報告を中心とした簡潔な構成でまとめてみました。奨学生のためのロータリー & 米山オンライン勉強会をはじめ、米山月間における卓話派遣、そしてクリスマスパーティと感謝祭企画、次年度奨学生オリエンテーション応援まで。この 1 年間の学友会の活動を、本会報を通じて確認してください。そして、これからの活動にも引き続き激励と応援をお願いいたします。



## 李 玥璇

大阪大学  
中国  
2021年4月～2022年3月  
守口イブニング RC

## 現役奨学生代表挨拶

私は守口イブニングロータリークラブのリゲッセンです。4月から大阪大学工学研究科の博士一年生になります。

光陰矢の如し、もうすぐ一年間の奨学生生活が終わります。この一年間、「献血活動」、「秋のRYLA オンラインセミナー」および「END POLIO NOW 学習会」のイベントに参加し、多くのことを学ばせていただいた一年でした。

献血活動に参加していたとき、一般市民の方々に献血にご協力することを呼びかけ、献血バスへ誘導しました。採血者数を見たとき、その日に集まった血液はきっと誰のためにお役に立つと思いがら、遣り甲斐を感じました。「献血は徳の継承と恩送りになる」と体感しました。

三日間の「秋のRYLA オンラインセミナー」では宝物のような言葉にたくさんと出会いました。山口恵理子先生が“私の幸せに気付く、ウェルビーイングな時間”をテーマとして講演していたとき、幸せの4因子を紹介してくれました。それぞれは、「やってみよう」、「ありがとう」、「なんとかな

る」および「ありのまま」です。夢や目標を持っている人やいつも感謝の気持ちを持っている人、楽観的に考える人、自分らしさを持っている人はよく幸せを感じると聞いたところ、幸せは自分で作ると悟りました。先生から「夢や目標を持ち、多様な人のつながりを大切に、前向きに、自分らしく生きる人が幸せ」という言葉をいただき、幸せへとたどる道は目に見えていました。また、コマンドポリシヨイ先生に「雨のち晴れ、涙の先、虹が見えるよ」と励まされて、どんな場面でも笑顔で対応すると決心しました。

「END POLIO NOW 学習会」を通して、奉仕活動の1つのポリオ根絶活動への理解を深め、ロータリーの奉仕の精神を学びました。夢を追い掛けて、日本へ留学して、最先端の知識を学んだ私たちは、自分の能力が必ずある分野に生かれます。これからは「奉仕の精神」を持ち、国際理解、親善、平和を推進することに微力ながら貢献できるように頑張ります。



## EANG, PANHA

大阪大学  
カンボジア  
2020年4月～2022年3月  
箕面 RC

## 現役奨学生代表挨拶

箕面ロータリークラブに2年間お世話になっており、カンボジア出身の米山奨学生のイアン・パンニャーと申します。

奨学金のおかげで、私は経済に関する心配をせず、大学院の修士課程の勉強・研究に集中することができました。この2年間の成果として、3つあります。一つ目は、電気工事士の資格に合格できました。二つ目は、今年の3月に大阪大学修士課程から卒業する予定です。三つ目は日本のパワー半導体メーカーから内定を頂き、今年の4月から勤めるようになります。エアコン、洗濯機、冷蔵庫などの白物家電やEVはパワー半導体能力により、効率や節電が異なります。そこで、今後、環境に優しい製品を設計し、持続可能な社会作りに貢献できるように頑張ります。

また、この2年間で、例会に参加することで私はとても成長したと実感しました。ロータリアンの卓話より、人生にあった課題に対する柔軟な乗り越え方、生き方などといった貴重な知識を学ぶことができ、さらに他人に対する心配りの姿を見ることことができました。これより、自分が社会人になり、相手の立場を考えて行動することで、国籍を問わず、周りの人に温かい思いと愛情を込めて人生を送

りたいです。

さらに、例会でロータリアンとカウンセラーさんと交流することで、日本の文化の知識がもっと深まり、日本語を改善することもでき、4月から日本社会社で会人として活躍する自信ができました。

また、コロナ渦で例会を行うことができないときもありましたが、カウンセラーさんが私の家まで奨学金を持ってきてくださり、その姿を一生忘れられないです。この理由で、米山奨学生から卒業しても、世話クラブを家族として一生連絡し、学友会もうにも積極的に参加したいと思っています。

今後、今まで米山奨学生として得られた恩恵と経験より、平和を軸として、人々に役に立つ製品の開発に努力します。さらに、日本は自然災害が多くても、優れた技術を持っているから、安心して安全な国だと体験したため、「日本が怖い国だと言われる」母国の友達や家族に事実を伝えて、日本と母国のカンボジアの架け橋になるように頑張っていきたいです。

最後に、米山奨学会と箕面ロータリークラブの皆様に2年間、本当にどうもありがとうございました。



## 福田 治夫

2015-16 年度米山奨学委員会委員長  
守口イブニング RC

## 奨学生の世話をして

コロナ禍の中での米山奨学生の受け入れで、例年のような十分なフォローができなかったことは寂しい思いです。

当クラブは、大阪独自の信号に照らして例会を開催していたので、リアルに会員と対面したのはかなり後でした。それまでは会員に自己紹介や近況報告のレターを配信していました。

ようやくリアルの例会で自己紹介をしたとき、いつも辛口の会員の中から「おもしろやっちゃ！いい子やな！」と呟くのが聞こえました。この場合の「おもしろやっちゃ！」は「非常に魅力的な興味を引く人柄」の大阪弁です。わずかな時間の自己紹介スピーチで会員の心を掴んだと思いました。非常に要領よく簡潔に人に伝える力があると感じました。

その中でゲッセンさんの趣味である太極拳のビデオを見た親睦担当の会員が、クリスマス家族会で太極拳の演武を依頼したところ快諾を得ました。会長・幹事もその出し物に出演するために、ゲッセンさんの指導を受け猛特訓をしました。結果、家族会

では大好評でした。カウンセラーである私にも前日に急遽出演するように親睦担当から連絡があり、練習していない旨を伝えるとラジオ体操をするようにとのことで、ゲッセンさんの太極拳とのアンバランスが笑いを誘い和みました

自己研鑽、物事への探求心が旺盛な人柄で、地区米山委員会からの呼びかけの献血活動や秋と春のライラ研修等にも積極的に参加してくれました。

奨学期間終了時（例会開催は4月）に例会で最後の挨拶をした時に、カウンセラーとして「いつも例会に来たらいいよ！今までは出席義務でしたが、今後は権利として出席してください！」と伝えました。この出会いを大切に、まだ在学中でもあり本来対面でお世話できなかった時間も含めて出来ることはサポートをしていきたいと思えます。

最後に、ゲッセンさんにとって、この奨学期間でロータリアンや学友の皆さんとの出会いが更なる成長につながればと思います。



## 師 成

中国  
2019年4月～2020年3月  
勝田 RC

## メンターとして感想文

私は2021年度関西米山学友会のメンターに務めました。メンターになれる前、正直に言うと、いいメンターになれる自信が全然ありませんでした。ミン会長をはじめ、学友会役員の皆さんに支えられ、自分の弱さを乗り越え、優秀な奨学生のメンターになりました。

コロナのせいで、2021年末に私は中国に戻りましたが、この一年間の思い出は一生忘れられないと思います。今でもヨウさん、コウさん、リさん、タクさんとテレビ電話のことや一緒に比叡山延暦寺に行った思い出などをよく思い出します。

2021年は特別な一年です。この一年間みんなはコロナとうまく付き合いながらコロナと一緒に生きていく気持ちで、この世界の困難を乗り越えて前に進もうとしています。米山奨学生の場合はさらにつらいのではないかと思います。メンティたちの話によると、学校の授業はオンラインで、ロータリーの関連行事においては、実際対面でのイベントが一度しかありませんでした。例会もほぼキャンセルされて、カウンセラーさんとも全然会えなかったそうです。それに対して私が現役奨学生の時代はすでに米山学友会に入会し、奨学生として世話クラブで例会に参加し、卓話の機会も頂き、カウンセラーさんと相互に他国の文化を理解しながら、他人に支えることも実践しました。本当に充実した奨学生生活だったと思いつつ改めて感謝の気持ちをいっぱいになりました。

そこでメンター先輩として、メンティたちに何ができるのだろうと考えました。メンティたちと一ヶ月に一回の頻度でオンライン会話して、時々オンラインで中国料理を食べながら、皆さんが研究している内容などを聞かせてもらいました。回数を積み重ねれば重ねるほど仲良くなって、またメンティたちの成長も感じました。

一番印象に残ったのは2021年10月にカウンセラー、メンター、奨学生と一緒に参加するオンライン交流会がありました。その交流会で、私は記者のようにカウンセラーの期待及び奨学生の目標をインタビューしました。このイベントで、奨学生たちの将来の夢を語り合えました。その刺激を受けて、私自身の今後の目標をさらに明確になったことを実感しました。メンターとしてできるだけメンティを心の支えになってあげたいつもりでしたが、実は私のほうこそ、メンティたちに支えられていっぱい勇気をもらいました。メンターとしての一年間は私にとってメンティたちと一緒に成長した一年だと強く思っています。

関西米山学友会のメンバーたちとロータリアンと茨城米山学友会のメンバーたちとロータリアンに感謝します。ただ五年間ですが、私は皆さんから正義や他人を助けることや異文化理解などを学びました。今後、皆さんから学んだことを中国で生かします！

## 2021 年度新規米山奨学生オンライン勉強会

### 関 スラ

大韓民国  
大阪うつほRC  
2013年4月～2014年3月

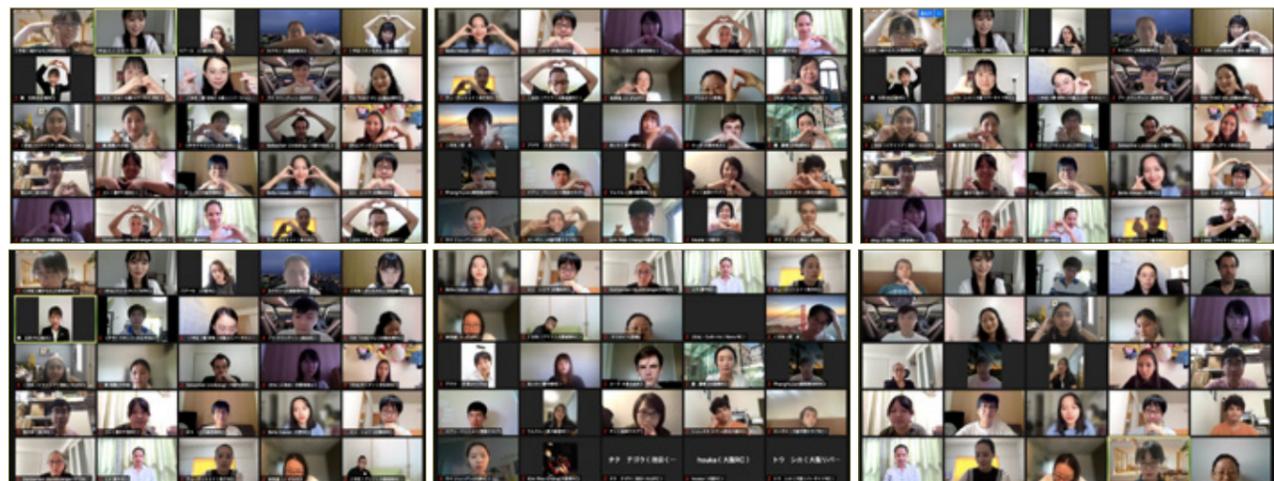
2019年度から関西米山学友会では、毎年新規奨学生たちのためのロータリー米山奨学生勉強会を実施しております。新規奨学生たちのロータリー組織に対する深い理解を図ると同時に、米山ファミリーとして学友たち、同期奨学生たちとの絆を深めるための勉強会です。奨学生たちは本勉強会を通じて、国際ロータリー組織とそれにおける様々な概念を理解し、我が地区の組織図をみながら米山奨学生の位置づけについても確認するきっかけになります。例会においてのふさわしい態度とロータリアンとの交流の中、起こりうる誤解または万が一の場合に対しても、対応できるノウハウも先輩の学友たちとの交流を通じて体得したりもします。

2021年度もまた新規奨学生のためのロータリー米山勉強会を実施しました。少人数体制で4回に分けて対面で実施した2020年度と異なって、今年度はコロナの状況に合わせ、対面勉強会が中止になった以降、10月3日ZOOMを使いオンラインで開催いたしました。

第1部は講演で、講師には関スラ現会長とアリフザイニ直前会長が努めました。ロータリーと米山学友会に対する話をそれぞれ40分ずつ話しました。第2部は、奨学生同士の交流を図ると同時に、ロータリーの中でホストの心得を持つ練習として、直接行事を企画してみるグループワークを行いました。ZOOMのブレイクアウトルーム機能を使い、およそ5-6人程度の奨学生と1人の学友が一つのグループに集まりました。とは言い、メンターグループごとに進んだわけではありません。同じメンターグループのメンター・メンティー以外に、他の奨学生そして学友との交流をさせるため、ランダムでグループを分けました。グループワークの時間には、まず、学友

のリードでお互い自己紹介をするアイスブレイクの時間を持ち、1部の内容をどれくらい理解したのかを確認するクイズタイムを持ちました。そのあとは行事企画に対する会議をしました。行事企画会議では学友はできるだけ発言せず、現役奨学生同士でだけ新しいアイデアを話し合うようにしました。2部のグループワークで終わらせず、PPTも作成し、各グループのリーダー奨学生たちがみんなの前でグループワークの内容を発表する時間も持ちました。

今回の勉強会を通じて奨学生たちは普段抱えていたロータリー・米山活動に対する不安感と疑問点を解決することができたでしょう。そして同じ立場の仲間たちと、そして経験者である先輩たちと話し合うことだけでも奨学生たちには所属間を感じる良い機会になったのではないのでしょうか。本勉強会が奨学生たちの積極的な活動と楽しいロータリー生活に役に立てたのであれば幸いです。



## 米山奨学生オンラインご挨拶会

2021年10月17日土曜日に、「2021学年度米山奨学事業オンラインご挨拶会」が開催されました。参加者は今年度のカウンセラーさんと米山奨学生だけではなく、メンターを担当している8名の学友もいます。これまで行われたイベントは「カウンセラーさんと米山奨学生」、「メンターと米山奨学生」といった二者間の交流が中心になっていましたが、今回のご挨拶会は三者間の交流を目的とする初めての試みです。

ご挨拶会の主要なプログラムはグループワークであり、今回はインタビュー形式で行われていました。当日はカウンセラーさんと米山奨学生がメンターグループごとに分けられており、メンターが司会を務めてカウンセラーさんと米山奨学生に対してインタビューを行いました。今年度私が8名の米山奨学生のメンターを担当させていただいているため、彼らのカウンセラーさんも含めて17名でグループワークを進行しました。そして、米山地区委員会の方々をサポートとして1つのグループに1名が参加してくださいました。

今回、私はカウンセラーさんと米山奨学生に対してそれぞれ3つのインタ

ビュー内容を準備しました。1つ目は初めての例会に関する質問です。米山奨学生から以下の感想がありました。「初めての例会で非常に緊張していました。」「ロータリアンの先生たちの名前がなかなか覚えられません。」その一方で、「米山奨学生への第一印象は笑顔がとても素敵なところでした。最初の例会であまり奨学生の緊張感を感じていなかったんです。」とおっしゃったカウンセラーさんがいました。

次に、米山奨学金事業の一員として米山の魅力について質問させていただきました。カウンセラーさんから「奨学生との交流を通じて、他文化をより知ることができました。」などの感想をいただきました。また、米山奨学生の中で「奨学生になってから前より研究や勉強に集中することができるようになりました。」と話した方がいました。

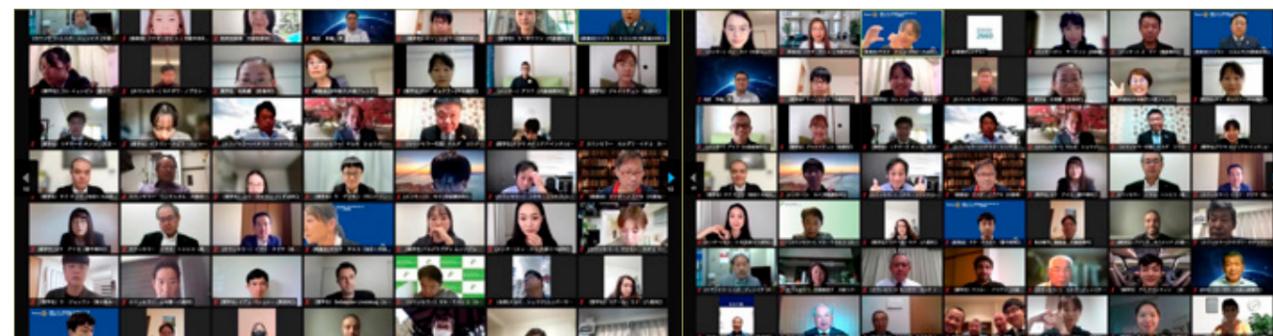
最後に、米山奨学生に奨学生生活の一番楽しかった思い出をシェアしていただいた後、カウンセラーさんから奨学生に対する期待をもちまして今回のご挨拶会を締めくくりました。奨学生生活で一番楽しかった思い出について、ロータリークラブの先生たちに誕生日パーティー

### 鄭 詩穎

台湾  
池田くれはRC  
2018年4月 - 2020年3月

を開いていただいたことや、カウンセラーさんと一緒に食事をしたことなどがあります。その中で、この機会を借りてカウンセラーさんへの感謝の気持ちを申し上げた奨学生もいました。米山奨学生の話聞いた後に、以下の言葉をおっしゃったカウンセラーさんがいました。「ぜひ一生懸命日本の文化を学んで母国と日本の架け橋になってください。」という期待の言葉をいただきました。

今回のご挨拶会を通じて、カウンセラーさん、米山奨学生、そしてメンターの三者間の交流を深めることができました。普段あまりお互いに話せなかった本音をこの機会をもって相手に知っていただくことができたため、これからより良い関係を築くことができると思います。



# 2021 米山奨学生学友会（関西）総会

## 関スラ

大韓民国  
大阪うつぼ RC  
2013年4月～2014年3月

パンデミック状況により、1年半以上対面活動がオンライン行事への変更または中止といった決断が相次いでいる中、疲れがたまった学友たちのために対面総会を開催することにしました。もちろん、十分な事前準備を通じて感染を防止するため、100名を遥かに上回る人数が集まっていた既存の関西米山総会とは違って、学友出席のみを中心に30名という出席制限をおき、開催しました。2021年7月4日、私たち関西米山学友会は先着順30名という制限対面出席とユーチューブライブ配信のハイブリッド総会を開催しました。

2019年12月のクリスマスパーティー以来、1年半以上ぶりの対面行事だったため、感染防止対策に心血を注ぐ一方、初めてのライブ配信で、技術的な部分においても多くの努力と準備が必要で

した。カウンセラー研修会ですでにハイブリッド行事進行に経験があるガバナー事務所のノウハウを伝授していただくため、地区行事のリハーサルにも参席し、機材の設置および進行方式などを見学しました。行事の前日まで試行錯誤を繰り返しつつ徹底に準備した結果、総会当日には無事、複数のカメラとパワーポイント画面を切り替えるライブ配信を成功に果たしました。（当日のライブ配信の技術部分は呉偉偉学友と倪露学友が担当してくれました。）

今年度の総会は昨年度と同様、「日本から世界へ、世界から日本へ」というスローガンをこれからの1年への抱負を込めて開催しました。人数制限学友中心対面開催であったため、吉川Gと片山PGはスピーチ動画で共にいただきました。そして地区米山委員会からは清水直前米山委員長、末松米山新年度委員長、坂田副委員長が、そして関西米山学友会の会長を歴任した松田（藩）学友が地区米山委員として出席してくださいました。米山サポーターズ・ロータリアン代表として吉田先生にもご出席いただきました。さらに、第2660地

区Rotaractの直前代表である北山さんと第2580地区東京学友会の梁一強会長も出席くださいました。そして、関西米山学友会の新たな家族、他地区転入学友の趙航さん（中国）・許鑫（中国）さん・コトパーシャリン ティータットさん（タイ）の3人の学友も初めての出席をしてくれました。

総会の構成は、前半は昨年度の活動報告、後半はディスカッションおよび発表で構成し、「コロナ時代、いかに向き合うのか」というテーマでテーブルごとにディスカッションをしながら出席者のみなさんと自分たちのノウハウと発見点を共有する時間を持ちました。

今年度の総会は開会から集合写真の撮影までおよそ2時間にかけて行った簡潔でありながらも楽しい総会でした。総会というタイトルが持つ硬さから離れ、久しぶりに学友たちと会い安否を確認し、互いあった話を共有しながら疲れを解消する、とても意味深い時間でした。総会当日のライブ配信動画は関西米山学友会のユーチューブチャンネルからもご視聴いただけます。（QRコード参照）



# 米山月間卓話報告

## 米山奨学生としての経験

卓話をした RC 名：大阪西 RC  
2021年10月4日

韓 妍嬌  
中国  
池田くれは RC  
2015年4月 - 2016年3月



久々の例会参加で以前奨学生時代に、毎週世話クラブの例会を楽しみにしていたことを思い出しました。例会も含め様々なロータリー行事の中で、職業奉仕、社会奉仕などについて考える貴重な機会をえさせていただきました。奨学生期間中交換留学で奨学金を辞退せざるを得なかったが、私が出た時思いました。奨学生じゃなくなっても、ロータリーとの繋がりを何かしらの形で続けたい、恩返ししたいと思いました。アメリカ留学を終え、私は世界をつなぐ、日本のことを世界にむけて発信したいような仕事に携わりたくてANAに就職しました。ロータリーと出会ってからの7年間、私の人生の大きなイベントには、いつもロータリーファミリーの方々がいてくれました。また今もロータアクト、米山学友のイベントに沢山参加し、世話クラブの方と連絡取り合っています。

## 感染症蔓延下におけるメンタルヘルス

卓話をした RC 名：城東 RC  
2021年10月5日

梅 星  
中国  
城東 RC  
2019年4月 - 2020年3月



元奨学生として、久々に城東 RC の皆様とお会いできて本当に楽しかったです。コロナ禍で、卒業後も皆様と会う機会がなくて、今回卓話のおかげで皆様元気な姿を見て安心しました。今回の卓話の内容は、現在の時期的とピッタリで、すこしでも皆様の心身の健康を維持するうえで役立つ情報をお知らせできたら嬉しいと思います。これからも米山学友会の活動を積極的に参加させていただきたいと思います。

## ロータリー米山記念 奨学事業について

卓話をした RC 名：大阪南 RC  
2021 年 10 月 5 日



鄭 詩穎  
台湾

池田くれは RC  
2018 年 4 月 - 2020 年 3 月

大阪南 RC には現在一人の現役奨学生（中国出身）がおり、クラブの先生たちは米山奨学生制度に関しては一定程度の知識を持っていると事前に教えられました。そのため、今回の卓話内容について米山奨学金の紹介などをメインにしておらず、「私の奨学生時期の経験と学友会での成長」というテーマにしました。元奨学生として、どのようなことを経験し、そこからどのように成長したかについてお話ししました。例会後カウンセラーを担当している先生に声をかけられて、今回の卓話を聞いて現役奨学生にもできる限りたくさんのお話を聞ける機会を作ってあげると言っていただきました。卓話を通じて伝えたい内容を少し理解していただいたと思います。



## 恩返しと日中架け橋

卓話をした RC 名：大阪中央 RC  
2021 年 10 月 7 日

陳 林  
中国  
芦屋 RC

2003 年 4 月 - 2005 年 3 月

今回卓話では米山奨学生制度の最大特徴「世話クラブ・カウンセラー制度」で育った自分は、奨学金のお陰様で在学中、勉強に専念でき、博士論文は国際賞受賞し、現在では日中の架け橋として、中国弁理士の仕事、日本企業の中国における知財係争へのサポートや、2020 年 4 月緊急事態宣言の際、募金集まりマスク寄付の社会奉仕活動を含めて話した。そして、モンゴルや中国、タイ、ネパール、マレーシア等のアジア諸国で活躍している米山学友会及びその社会貢献の活動を紹介した。当日、卓話後ロータリアンらとの交流は長く続けた。



## 米山学友会活動紹介

卓話をした RC 名：茨木東 RC  
2021 年 10 月 7 日

関 スラ  
大韓民国

大阪うつぼ RC  
2013 年 4 月 - 2014 年 3 月



茨木東 RC への初印象はとてもフレンドリーで会員の皆様同士の仲がよく家族のようなイメージだった。歓迎して下さる雰囲気、自然にアットホームな気分で楽に卓話することができた。学友会の活動を中心に卓話をした。その中、米山奨学事業に対して多くのロータリアンには寄付のやりがいを感じられないという疑問を抱いている方が多いため、その部分への疑問と誤解を解消してあげることを目指して内容をくんだ。米山奨学事業は世界平和のために世界人材を育成するプログラムであり、目立たない活動を見せてくれなくても米山学友は世界のどこかで自分の分野で必ず活躍していることを忘れないでほしいと話した。米山事業に対して、前向きに考えて下さることがいっぱい伝わってきてとても嬉しかった。



## ロータリアンと奨学生 と学友会を結ぶもの

卓話をした RC 名：八尾 RC  
2021 年 10 月 10 日

頼 育萱  
台湾

奈良大和西和 RC(旧王寺 RC)  
2006 年 4 月 - 2007 年 3 月



八尾 RC が今年フランス出身のウアールさん奨学生を迎えて頂いております。訪問する際、ウアールさんの奨学金を受領する儀も拝見させて頂きました。今回の卓話は主に関西学友会と世界米山学友会の具体的な活動内容を紹介させて頂きました。時間が予定より短かったため、全ては紹介し切れなくて残念でしたが、最後に地区委員会の決めたテーマに繋げることができて良かったです。何人のロータリアンから勉強になった、ぜひ参加したいと声を頂き嬉しかったです。ロータリアンと奨学生と学友会を結ぶものは何でしょう？ロータリー精神を生み出す「米山奨学金制度」ではないでしょうか。今回の卓話で、一人でも多くのロータリアンがこれからはもっと米山奨学金制度をご協力していきたいと思っただけなら幸いです。

## 米山月間に因んで

卓話をした RC 名：吹田江坂 RC  
2021 年 10 月 26 日

陳 林  
中国  
芦屋 RC  
2003 年 4 月 - 2005 年 3 月



吹田江坂 RC では、1991 年から累計 10 名の奨学生を受け入れ、ロータリアンと奨学生の思い出に残る友好信頼関係を築いていた。今回卓話では米山奨学生制度の最大特徴「世話グラブ・カウンセラー制度」に触れ、自己紹介では奨学金のお陰様で勉強ができ、博士論文は国際賞受賞し、永住権も特別許可されたことを含めて話した。そして、モンゴルや中国、タイ、ネパール、マレーシア等のアジア諸国で活躍している米山学友会及びその社会貢献の活動を紹介した。当日、6 名のロータリアンから合計 12 万円の寄付があったと後日ご連絡がありました。愛情・情熱が溢れるクラブだと感じました。

## 米山で得られた経験

卓話をした RC 名：  
千里メイプル RC  
2021 年 10 月 28 日

関 スラ  
大韓民国  
大阪うつぼ RC  
2013 年 4 月 - 2014 年 3 月

鄭 詩穎  
台湾  
池田くれは RC  
2018 年 4 月 - 2020 年 3 月



今回の卓話で私の米山で得られた経験をテーマに卓話をさせていただきました。奨学生のごとき、体験したことや学んだことについて紹介しつつ、それらの経験をどのように私の米山学友生活に影響を与えるかについてお話しさせていただきました。自らの経験のお話を通じて、米山を応援する価値があるよと少しでも思わせるように頑張りました。まだまだ未熟な卓話内容となっていましたが、ロータリーの先生たちに米山の事業についてもう少し理解していただけたと感じました。今回の卓話でも大変刺激を受けました。今後も引き続き米山学友会で頑張っていきます。

ロータリー学友会 2021-2022 年度  
秋の交流会

## 吳 偉偉

中国  
青森東 RC  
2010 年 4 月 - 2011 年 9 月

2021 年 11 月 28 日に「ロータリー学友会 2021 年—2022 年度秋のイベント」が開催されました。

皆さんはロータリー学友会のことご存じですか。ロータリー学友会とはロータリー青少年奉仕プログラム（青少年交換、インターアクト、ローターアクト、RYLA、米山、財団奨学生など）に参加した方が参加できる OB / OG 組織です。私は 2660 地区ロータリー学友会の会計幹事として参加をさせていただいております。

2660 地区ロータリー学友会では年に二回（春と秋）のイベントが開催されています。今年度の秋のイベントはコロナの影響で、対面での開催ができずオンラインで開催することになりました。しかし、今回のオンラインイベントはいつもと違って、参加者にもっと楽しんでもらえるように大阪市から少し離れた京都府北部、与謝野町にあるビール工場の倉庫内で開催しました。

今回のイベントにはロータリアンの方々をはじめ、米山奨学生、財団奨学生、RYLA、ローターアクト、ローテッ

クスなどたくさんの方が参加されました。

第一部の講演会では与謝野町の地域創生のために頑張っている吹田ローターアクトクラブ出身の濱田 祐太さんを講師に招きました。

濱田さんは関西大学在学中に会社を立ち上げ、京都府与謝野町を中心に若者によるチャレンジ（企業、事業継承など）を促進して地域の雇用や課題解決につながるよう頑張っています。

講演の中で「やりたいことを見つけることに何十年もかかる人が多い中、やりたいことを見つけることができた自分はラッキーだから、それをやり遂げるために力を尽くされている」というお話はとても心に響きました。

第二部の WEB 懇親会はいくつかのテーマを決めて、テーマごとに zoom 部屋分けして、参加者は関心のある部屋に自由に入出りできるように設定し、地区学友会の役員たちがそれぞれの部屋を担当し交流を進行しました。

懇親会では参加者たちに事前に与謝野町の地ビールや特産物などを購入して

もらい、売り上げの一部を地元の奉仕団体に寄付するにしました。懇親会始まった後に、ロータリー学友会役員たちがスマホをもってビール工場の外に出て、青空の下、天橋立と阿蘇海を背景に、地元産のビールを飲みながら交流を始めました。

なかなか旅行ができない時期にこのような形で、旅行気分交流するのはとても楽しかったとおっしゃってくれる方もいらっしゃいました。

今回は濱田さんの講演に心を響かせられながら、綺麗な景色の中でおいしいビールを飲んで交流できるのがとてもよかったです。今回のイベントでも感じたのが世界各地にいる学友会たちは自分が頑張っている場所の景色を見せながら交流することができれば、リアルで現地状況がわかり、相互理解を深めることもできるのではないかと思います。これこそがロータリーの使命である世界理解、親善、平和を推進することではないでしょうかと感じました。

# 米山 Merry ChristmasK 交流会

## 頼 育 萱

台湾  
大和西和 RC(旧王寺 RC)  
2006年4月 - 2007年3月

この二年間、米山の活動はコロナの影響を大きく受け、ほとんどのイベントをWEBで行ってきました。そうした中で私たちは、奨学生、ロータリアン、学友相互に、より自由な交友を深めてもらいたいという思いを強めてきました。そこで、コロナ感染が比較的落ち着いた12月初旬に、対面式のクリスマス交流会を企画しました。密を避けるためにオープンテラス会場を貸し切り、入場時の検温・消毒、食事以外の時間にマスク着用などの十分な感染対策を講じながら行いました。

オープニングで会長関さんの演奏が始まったとたんに、会場の雰囲気はパツと明るくなりました。いつもの関西米山が戻ってきた!! という感じでした。来賓の山本理事長と泉パストガバナーのご祝辞からは、皆さんの米山に対する期待がとても伝わってきました。



そして、クライマックスの余興に、現役奨学生たちに歌のパフォーマンスをしてもらいました。緊張気味でしたが、一生懸命に歌った姿からは、奨学生それぞれの意外な一面と才能を発見できました。ビンゴゲームでは参加者全員が一体となって、大人も子供も盛り上がり、笑いの絶えない時間を共有することができました。

実行委員の私たちだけでなく、学友や現役奨学生も一丸となって知恵を絞り、当日早い時間から会場の設営、感染防止、防寒対策などの準備を行いました。その甲斐もあって、参加者の皆さんからは「待ちに待ったよ」「開催してくれてよかった」「皆さんに会いたかった」などの喜びの声を頂きました。本当に対面式の交流会を楽しみにしていたことが伝わりました。企画当初は学友中心で30名くらいの規模で考えていました

が、予想を超えて総勢76名もの奨学生、ロータリアン、ご家族の皆様に参加して頂きました。本当に嬉しく思います。

コロナ禍で苦勞されていることも多い中、楽しいクリスマス交流会を通して少しでも気持ちを明るくできればと思い、この交流会を企画しました。また現役奨学生たちにおいては、ロータリーファミリーの一員としての実感を強め、交流を深めて、さらにロータリー関係のイベントや米山学友会の行事に積極的に参加する意欲を高めて頂ければ幸いです。

無事にこの交流会を開催できたことはやはりご参加の皆様のご賛同があったからだと思います。2時間の短い集まりでしたが、歓談する皆さんの溢れる笑顔を見られて、とてもやり甲斐を感じました。思い切って企画して本当に良かったです。感謝でいっぱい交流会でした。

# 新規奨学生選考応援

## 梅 星

中国  
大阪城東 RC  
2019年4月 - 2020年3月

1/22(土)、私は米山学友として、初めて関西米山学友会の主な活動の一つ、2022年4月採用の新規米山奨学生の面接選考の応援活動に参加しました。

選考日の当日、私は夜明け前に家を出て、数年前に緊張しながら面接に来たホテルに到着しました。光陰は矢の如し、あっという間に奨学生から卒業して3年が経ちました。卒業後は新型コロナウイルス感染症は繰り返され、学友会の活動に参加することが叶いませんでした。幸いで最近新型コロナウイルス感染症の流行が少し和らいでおり、ほぼ全員がワクチン接種を受けているので、ようやく学友会を主催する活動に参加することが叶いました。



今回もコロナ禍の中での開催となりましたが、主催の地区委員会の方々がすでに様々な感染防止対策の経験があり、スムーズに進行ができました。今年の選考の応援は、私を含めて6名の学友と一緒に参加しました。他の5名の学友同士は受付担当と検温担当をしており、私は面接をしに来る学生たちの場所案内の担当でした。私自身は初めて選考の応援に参加したため、戸惑うところもありましたが、学友同士でお互いに助け合い、役員の方々に確認をしながら、トラブルなく終わることができました。

今回の活動のお陰で、来た学生たちの様子を見て、当時自分が奨学生に選ばれた思い出がたくさん溢れて来ました。

その感謝の気持ちで後輩と交流できたことは、本当にやりがいのある奉仕活動だったと思います。貴重な体験をさせていただき、誠にありがとうございます。

今回の活動を通して、米山奨学会の新規奨学生の選考の過程や、今まで米山地区委員会の方々の努力と苦勞を理解することができました。また、学友会の中に新しい友達にも出会い、とても嬉しく思います。そして各イベントで役員の方々が果たした重要な役割についても学びました。今回の選考の応援で、私は関会長の推薦で役員の一員になり、今後も米山学友会に貢献できるように頑張りたいと思います。



## 米山奨学生による感謝祭

### Ariff Zaini (アリフ ザイニ)

マレーシア  
大阪城東 RC  
2013年4月 - 2015年3月

2022年3月27日の18時から米山奨学生による恒例の感謝祭が行われました。感謝祭とは、当地区の米山奨学生独自の行事であり、一年間お世話になったロータリアンの方々に感謝の気持ちを表す会です。今年もコロナのためオンラインで開かれ、Youtubeで生配信をしました。

最初の企画から最後の実行まで、すべて現役の米山奨学生が担当しました。4名の実行委員 (Shrestha, Suman (大阪西北 RC)、黄開運 (くずは RC)、Eang, Panha (箕面 RC)、Dorjradan, Munkhdelger (守口 RC)) がオンラインでブレインストーミングをし、感謝祭の内容についていくつかの案を作成した後、全員の奨学でオンラインミーティングでどの案にするかを決めました。本来、多くの奨学生が集まり同じホワイトボードを見ながらワイワイとブレインストーミングをするのですが、コロナ禍な

らではの効率よく進めるための工夫をしました。

感謝祭の動画編集は二名 (Shrestha, Suman (大阪西北 RC)、Irawan, Nabila Khansha (交野 RC)) がしました。Shrestha はどんなことに対して積極的に素晴らしくて、Irawan は専門学校でデザインを学んでいるので動画編集の仕事に彼女は積極的に手を挙げました。

感謝祭は4つの部分に分かれています：代表奨学生からのスピーチ、各奨学生からの短いメッセージ動画、合唱、母国後での感謝の言葉です。司会の蔡淳安 (大東 RC) による開会挨拶の後、二名の優秀な奨学生 (Eang, Panha (箕面 RC)、李玥璇 (守口イブニング RC)) が奨学生全員の代表として、一年の感想と今後の抱負について語りました。その後、各奨学生からそれぞれ世話クラブの方々への短いビデオメッセージです。奨

学生はそれぞれ大切にユニークな思い出ができてよかったなと実感しました。その後、奨学生全員が「ありがとうは私から」という卒業にピッタリなロータリーソングを合唱し、最後は各奨学生は母国語で「ありがとう」という感謝の言葉を心を込めて言いました。

感謝祭の目的はお世話になった世話クラブの方々に少しでも感謝の気持ちを伝えるため、見てくださった世話クラブの方々が喜んでいただければ幸いです。また、感謝祭当日はライブ配信をしましたが、感謝祭の動画は今でもYoutubeで視聴できますので、見逃した方はいつでも見てください！視聴するには関西米山学友会のYoutubeチャンネル「米山関西」から検索いただくか、以下のQRコードでYoutubeリンクを読み取ってください。



QRコード：感謝祭のYoutubeリンク



## 『子どもの夢をつなごう』奉仕プロジェクト

### 何 玉翠

台湾  
奈良 RC  
1987年4月 - 1989年3月

社会奉仕活動とボランティアとの違いはどこにあるか？ロータリー奉仕の精神を勉強しながら、自己満足でおわらないように企画すること。見る角度の違いで物事が変わっていく、しかし行動に移さなければ、次のステップにはいかない。毎回活動を企画する時、たくさんの意見があって、いろいろ聞きながら担当役員が調整して実行に持っていくのが一番大変な仕事です。

コロナ疫情蔓延で活動は自粛、会議もリモート参加が多くなり、学友間の交流も減って非常に寂しい毎日でした。池田くれば RC の後援で海外の子どもになにか協力できるような企画ありませんか？早速ベトナム学友会に打診して、喜んで一緒に企画することになりました。5月下旬はベトナムの年度末、日本とえば2月の春休み前です。1年間勉強の成果、優秀な生徒にプレゼントをあげる風習があります。ではこの時期を目標にして、早速対象と物品を決めましょう。そこで、毎年大阪の子どもが使っていた大事なランドセルと家にある未使用な文房具などの物品の寄付活動があり、それをベトナムの子どもに使ってもらいたい、共に夢を追いかけてもらいたい気持ちで『子どもの夢をつなごう』プロジェクトの企画に決定。

プロジェクトの協議開始、対象校を僻地小学校と小学に入る手前の幼稚園年長組に決定。数量：200名分前後。次は物品、これは大変～～小学校といえば、

文房具の発想、現地に要望を聞きながら調整するつもり、しかし学友間ベトナムは貧しい国ではない、古いものはいらない、もの送るのも運賃がかかる、寄付金で十分、主旨がどんどん変わって、具体的内容聞いてない人まで口だしして、担当学友たちが単純のこどもを応援する気持ちの発想がここまで複雑になることは思いもしなかった。しかし、プロジェクトを依頼開始し始める同時にたくさん学友の賛同で物品とお金の寄付が集まって、余計真剣にこのプロジェクトに取り組んでいかなければならない責任がありました。

最終的の物品は皆さまが送ってきた文房具を発送。寄付金はコロナでリモート授業に勉強道具不足、購入できない生徒に貸出できる機材を現地で調達して対象校に寄付。2月から企画をはじめ、簡単にいけると思っているプロジェクトが順調にいくまで、たくさんの難関があつて、本当に皆さまのご協力に感謝です。

まず寄付活動のために現地調査、小学校に連絡役、実行役のベトナム学友たちとドンナイ省人民委員会の規定に従って、プロジェクトの実施にドンナイ省連合友好委員会及び越日友好協会のご協力、また最初から後援してくれた池田くればはロータリークラブ、そして『こどもの夢をつなごう』プロジェクトに参加してくれた学友の皆さまです。

本当にありがとうございました。



ロータリー米山奨学生学友会（関西）

2020/7～2021/6年度会計決算書

自2020年7月1日

至2021年6月30日

収入の部

科目	金額	備考
前年度繰越金	1,589,160	
特別補助金	852,315	国際ロータリー第2660地区
会報補助金	64,175	米山記念奨学会
寄付金	2,000	
利息収入	8	
総計	2,507,658	

支出の部

科目	金額	備考
運営費	35,164	
会報作成費	128,350	
社会奉仕活動費－補助	195,320	
WEB総会・感謝祭費用	18,051	
雑費	1,804	
次年度への繰越金	2,128,969	
総計	2,507,658	

以上ご報告申し上げます。

2021年7月4日

会計 鄭 詩穎



会計監査報告

会計監査の結果、会計収支決算書は適正と認めます。

会計監査 李 麗俞



ロータリー米山奨学生学友会（関西）

2021年度会計予算書（案）

自2021年7月1日

至2022年6月30日

収入の部

科目	金額	備考
前年度繰越金	2,128,969	
特別補助金	300,000	国際ロータリー第2660地区
会報補助金	100,000	米山記念奨学会
総会収入	50,000	
総会補助金	120,000	米山記念奨学会 @3,000×40
懇親会収入	1,380,000	
懇親会補助金	60,000	米山記念奨学会 @3,000×20
利息収入	10	
総計	4,138,979	

支出の部

科目	金額	備考
運営費	80,000	
会報作成費	200,000	
総会費用	200,000	
懇親会費用	1,730,000	
雑費	10,000	
次年度への繰越金	1,918,979	
総計	4,138,979	

以上ご報告申し上げます。

2021年7月4日

会計 鄭 詩穎



## 2022-2023 年度活動スケジュール

日付	2022.4 ~ 2023.3 行事内容
2022/4/7 (木)	2022 年度米山新規奨学生オリエンテーション (地区主催)
2022/5/15 (日)	2022 年度新規奨学生勉強会
2022/5/21 (土)	米山学友会交流会及びロータリー学友春の総会
2022/6/12 (日)	レクイエム音楽祭出演
2022/7/3 (日)	2022 年度関西米山学友会総会
2022/9/18 (日)	米山奨学生レクリエーション (地区主催)
2022/12/17 (土)	RI2660 地区 地区大会
2022/12/17 (土)	2022 年クリスマス交流会
2023/1/21 (土)	2023 学年度奨学生選考試験 (地区主催)
2023/2/25(土)	米山記念奨学生終了式・歓送会 (感謝祭) (歓送会は米山企画)

## 2021-2022 年度現役奨学生

<p>箕面 RC</p>  <p>EANG, PANHA カンボジア / 大阪大学</p>	<p>豊中千里 RC</p>  <p>龔 晏平 台湾 / 大阪大学</p>	<p>大阪北梅田 RC</p>  <p>閻 捷 台湾 / 立命館大学</p>	<p>大阪北 RC</p>  <p>EDWINA BIANCA LIEW TZEYI マレーシア / 立命館大学</p>
<p>大阪淀川 RC</p>  <p>張 天齊 中国 / 大阪大学</p>	<p>高槻 RC</p>  <p>劉 陽 中国 / 関西大学</p>	<p>高槻東 RC</p>  <p>SUPIT, JAIR CHRISTINE インドネシア / 追手門学院大学</p>	<p>守口 RC</p>  <p>DORJRAVDAN, MUNKHDELGER モンゴル / 関西医科大学</p>
<p>大阪東 RC</p>  <p>金 盱滄 大韓民国 / 大阪大学</p>	<p>大阪城東 RC</p>  <p>FAROUX, DORIAN フランス / 大阪大学</p>	<p>東大阪 RC</p>  <p>劉 楽楽 中国 / 大阪産業大学</p>	<p>大阪御堂筋本町 RC</p>  <p>PHANG, YU JUN マレーシア / 大阪産業大学</p>
<p>大阪西北 RC</p>  <p>SHRESTHA, SUMAN ネパール / 大阪産業大学</p>	<p>大阪中之島 RC</p>  <p>陳 玉芬 台湾 / 大阪経済大学</p>	<p>大阪咲洲 RC</p>  <p>VU THI THAO ベトナム / 大阪女学院大学</p>	<p>池田 RC</p>  <p>BUI THINH CUONG ベトナム / 関西大学</p>

# 2021-2022 年度現役奨学生

池田くれは RC



翟 智豪  
中国  
大阪大学

大阪中央 RC



LINDSKOG, SEBASTIAN SVENEN  
スウェーデン  
大阪大学

大阪大淀 RC



BOUJLIDA, MOHAMED  
チュニジア  
大阪大学

豊中 RC



BASTOLA, SUSMITA  
ネパール  
大阪女学院大学

豊中南 RC



楊 艾佳  
中国  
追手門学院大学

摂津 RC



NGUYEN TRINH THI THUY  
ベトナム  
大阪学院大学

千里 RC



ABBADI, HEBA AHMED ABDELBAQI  
エジプト  
立命館大学

千里メイプル RC



AKHSA MEILIANA INTANI  
インドネシア  
大阪商業大学

吹田西 RC



HETTIARACHCHIGE DONA, PIYUMI WATHSALA  
スリランカ  
大阪大学

大東 RC



蔡 淳安  
台湾  
近畿大学

大東中央 RC



ROSSER JONES, LUKE BENJAMIN  
英国  
立命館大学

交野 RC



IRAWAN, NABILA KHANSHA  
インドネシア  
OCA 大阪デザイン & IT 専門学校

くずは RC



黄 開運  
中国  
摂南大学

枚方 RC



CHU THI THUY  
ベトナム  
大阪産業大学

守口イブニング RC



李 玥璇  
中国  
大阪大学

東大阪東 RC



DUONG LINH NHAT  
ベトナム  
大阪女学院大学

# 2021-2022 年度現役奨学生

東大阪中央 RC



禹 政勲  
大韓民国  
立命館大学

大阪柏原 RC



翟 依群  
中国  
大阪教育大学

大阪南 RC



羅 鳳琳  
中国  
近畿大学

八尾 RC



HUARD, MINA MINEA ALEXANDRA  
フランス  
大阪国際大学

大阪堂島 RC



杜 凱麗  
中国  
大阪大学

大阪リバーサイド RC



湯 詩佳  
中国  
立命館大学

大阪船場 RC



郭 鑫  
中国  
大阪産業大学

大阪心斎橋 RC



NGUYEN PHUNG THU HANG  
ベトナム  
大阪大学

大阪西南 RC



王 梓  
中国  
大阪大学

大阪ユニバーサルシティ RC



THACH NGOC THUAN  
ベトナム  
大阪産業大学

大阪 RC



方 軻  
中国  
関西医科大学

大阪平野 RC



PINHEIRO CAMPOS, RODRIGO  
ブラジル  
大阪大学

大阪大手前 RC



楊 思微  
中国  
相愛大学

大阪東南 RC



DAO THI PHUONG MAI  
ベトナム  
大阪国際大学

大阪天満橋 RC



NG, RICHARD WING TO  
英国  
大阪大学

大阪天王寺 RC



ONGKO, RICHARD  
インドネシア  
大阪工業大学

## 2022 年度会報募集要項

第 2660 地区米山学友会関西地区奨学生・学友の皆様、  
本学友会の活動をまとめる会報 1986 年創刊号から 2021 年度 38 号まで、たくさんのご入稿、ご協力  
ありがとうございます。今後もご引き続きご応援の程、よろしく願いいたします。  
入稿について以下の事項にご注意ください。

### テーマ、内容、字数と枚数、写真提供、基本的には自由

( エッセー・感想文なども可 ) です。 ※研究レポートを提出することは、お控えください。

### 言語：

日本語または英語

### 原稿締切り：

毎年 4 月末日時間厳守でお願いいたします。

### 送付方法：

原稿は PC メールでの入稿をお願いします。 ※メールアドレス :yoneyama2660@gmail.com

### 注意事項：

1. テーマを必ず冒頭にご記入をお願いします。
2. テーマの下に、名前・国籍、と現・元世話クラブの順番でお願いします。  
( 例：大阪花子 ( 日本 )、世話クラブ：〇〇 RC )
3. 文章の最初に簡単な自己紹介をお願いいたします、( 奨学金の受領年も覚えていれば、記入をお願い致します。 )。
4. 文章を提出する際、顔写真、活動写真 ( JPEG ) も一緒にお送りください。

### 編集チーム

編集：鍾 允順 ( 学友・2014-2015 年度米山奨学金受給者・世話クラブ；池田くれは RC )

校正：2021-2022 年度役員一同



